

千曲市「復旧」及び「復興」計画策定方針 (令和元年台風第19号災害)

令和2年2月

千 曲 市

1 計画策定の趣旨

令和元年10月12日に長野県へ最接近した台風第19号は、各地に甚大な被害をもたらしました。

千曲市においても、警戒レベル5相当の大雨特別警報が発令され、千曲川杭瀬下水位観測所における水位が氾濫危険水位を大きく上回る6.4mに達したことで、堤防からの越水、霞堤からの逆流、支流の内水氾濫などが発生しました。

これにより、市内各所で住宅や自動車が浸水被害を受けたほか、商工業や農業にも大きな被害を及ぼしました。

また、強風により住宅やビニールハウスなどが損壊し、さらに公共施設においては、文化会館や保育園、河川敷内の公園やスポーツ施設など、200件を超える施設が大きな被害を受けました。

既に被害を受けた方に対する様々な支援が動き出しており、また道路・河川等のインフラについても復旧事業が始まりつつありますが、今なお多くの市民の皆様が生活の基盤である住まいや生産基盤の再建に対して不安を抱えています。

このため、市民生活の再建を早急に進めるとともに、今回の台風被害を教訓として、より災害に強く、安全・安心で心穏やかに暮らせるまちを創造するため、復興への新たな取り組みを市民の皆様とともに全力で進めていく必要があります。

しかし、千曲市がかつて経験したことのない規模の災害からの**復旧・復興**を実現するためには、克服すべき様々な課題があります。

それら課題解決のため、市民一人ひとりと行政が今後の目指すべき姿を共有するとともに、これまで以上にあらゆる力の結集を図りながら、復興に向けた各種施策を総合的かつ計画的に推進するため、**復旧及び復興**に関する計画を策定します。

2 策定にあたっての基本的な考え方

(1) 復旧計画と復興計画の策定

生活資金や住まいに関すること、税金や利用料などの減免など、安定した生活、安心した日常を取り戻していただくための支援は既に始まっております。

しかし、市民が通常の生活を取り戻すことや、インフラ等の原状・改良復旧には、よりスピード感をもって対応することが重要であるため、**復旧計画**を先行して策定することとします。

また、生活基盤である地域産業・地域経済の再生や、今回の災害で明らかとなった新たな課題に対して解決の方向性を示し「災害に強い安全・安心なまちづくり」を進めるため、市民をはじめ幅広い意見を丁寧に聞きながら、中長期的な視点に立ち、財政状況にも配慮した**復興計画**を策定します。

(2) 市民参画

計画案の策定にあたっては、市民の皆様と行政が直接対話する機会を設けるとともに、災害に強いまちづくりを進めるためのアンケート調査を実施します。

また、**復興計画**は、パブリックコメントを行うことにより、計画案に対する幅広いご意見の把握に努めます。

(3) 議会との連携

市民の代表である議会の意見・要請を尊重し、議会と行政の緊密な連携を図ります。

(4) 有識者等外部人材との連携

過去に例を見ない被害をもたらした災害からの「復旧」・「復興」を成し遂げるため、高度な識見を有する専門家や、外部の支援組織と緊密に連携し、復旧及び復興計画を策定します。

また計画策定の前提として、専門家の協力のもと、災害が大きくなった原因の解明・検証を行います。

3 計画の概要

(1) 計画の名称及び主要内容

① 「千曲市復旧計画」

生活に密着した丁寧な支援により、日常生活の安定を一刻も早く取り戻します。

【ハード事業】

- 防災・減災・安全対策（応急含む）
- 公共施設等の復旧（道路・河川・公園・子育て施設・文化施設 他）

※改良復旧

【ソフト事業】

- 住まいと暮らしの再建
 - ・住まいへの支援（住宅の応急修理、被災家屋等の公費解体・撤去制度 他）
 - ・生活資金の支援（国・県の被災者生活再建支援制度 他）
 - ・税金や使用料、手数料等の減免 他
 - ・災害見舞金等のお支払い（災害見舞金・災害義援金）
 - ・災害廃棄物の適正処理
 - ・健康相談（心身のケア）
- 被災企業等への事業継続に向けた支援
 - ・事業継続計画（BCP）の策定づくりを支援
- 農業者への営農継続に向けた支援
- 商店・飲食・旅館業者等への風評被害を払拭し、早期回復に向けた支援
- 防災対策・教育の推進
 - ・各種マニュアル等の整備（避難所設置・運営、情報伝達・収受、施設ごとの避難計画 他）

② 「千曲市復興計画」

中長期的な視点で、防災と減災を実現し、災害に強いまちづくりを進めます。

【ハード事業】

- 信濃川水系緊急治水対策会議による周辺自治体と連携した治水対策
- 国や県に対し、抜本的な治水対策を要望
- 大規模災害に備えたインフラ整備 ※改良復旧

【ソフト事業】

- 市民と行政の協働による地域防災力の向上
 - ・自主防災組織の強化・育成

- ・防災意識、防災教育の普及と推進
 - ・地域防災計画、水防計画の見直し
 - ・避難所、物資輸送拠点、備蓄庫機能等の強化
 - ・情報伝達手段の整備
- 救護体制の見直し

【地域活力の創造】

- 産業の振興
- 移住・定住の促進
- シティプロモーションの推進 他

(2) 対象地域

市内全域

(3) 基本方針

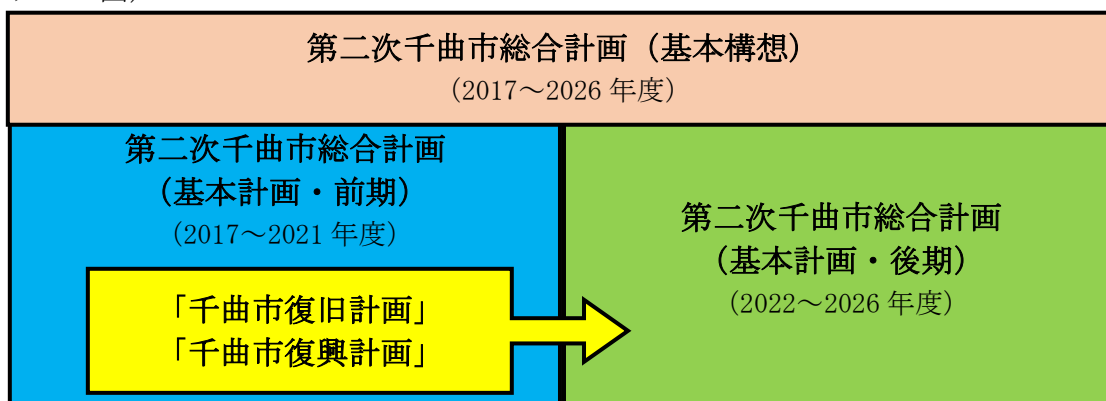
○計画の位置づけ

今回の台風災害からの**復旧・復興**には、先人達が築き上げてきた地域の回復、希望が持てる未来と地域の魅力を創造していくことが求められます。

これらは、第二次千曲市総合計画（2017年度～2026年度）の基本目標4に掲げる「災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまちづくり」の実現でもあり、本市において変わることのない目指すべきまちづくりの指針です。

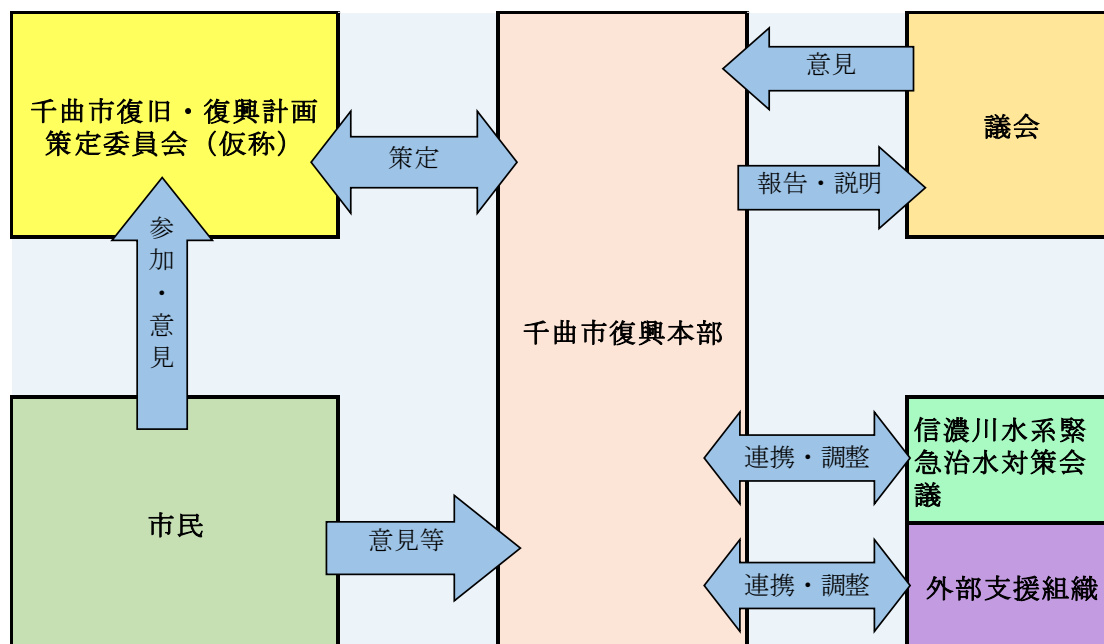
そこで、これらを実現していくため、この**復旧計画**及び**復興計画**は、総合計画の一部を成すものと位置づけ策定します。

(イメージ図)



4 策定体制

(計画策定の体制図)



5 策定のスケジュール

	2019 (令和元) 年度				2020 (令和2) 年度														
	12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
議会		→																	
市民参画	アンケート	→																	
	パブリックコメント	→						→											
	復興計画案についての地区説明会							→											
復興本部	復旧計画	→																	
	策定方針	→																	
	復興計画	→																	
策定委員会		→			→														

Additional annotations in the schedule table:

- 議会**: 隨時説明 (随时 explanation) from month 4 to 8.
- 策定方針案について** (Regarding the formulation policy plan): Box from month 1 to 3.
- 復興計画案について** (Regarding the recovery plan plan): Box from month 4 to 8.
- 実施** (Implementation): Box from month 8 to 12.
- 計画の策定** (Formulation of the plan): Box from month 1 to 3.
- 計画案の検討・策定** (Review and formulation of the plan plan): Box from month 1 to 8.
- 公募** (Public solicitation): Box from month 1 to 2.
- 計画案の審議** (Review of the plan plan): Box from month 3 to 8.
- 策定完了** (Formulation completed): Callout bubble pointing to the end of the plan plan review period.